

# サンタクロース来日 2005年

## ○ 2005年の活動

## フィンランドのサンタクロースが京都にやってきた！

2005年12月13日(火)～14日(水)

わかさ生活は、『ブルーベリーアイ』の原材料である北欧産野生種ブルーベリー「ビルベリー」の原産地フィンランドとかかわりが深く、そのご縁があってわかさ生活の地元・京都をサンタクロースが訪れてくれました。

サンタクロースは、子どもたちに夢を与えるために幼稚園や病院を訪れました。サンタクロースの登場に、何も知らなかった子どもたちは、「サンタさんだ！」「大きい～！」と驚くばかり！本物のサンタクロースが目の前にいることが信じられない様子でした。サンタクロースは子どもたちから「どこから来たの？」「今何歳？」と質問攻めに。(サンタクロースは自分の歳の数を数えている間に寝てしまうくらいの年齢なのだそう)

サンタクロースから子どもたちに、レターセットがプレゼントされました。子どもたちは「これでサンタさんにお手紙を書くだ！」と大はしゃぎ。

「良い子にしていればクリスマスにサンタさんは必ずやってくるから、良い子で過ごすんだよ」サンタクロースは子どもたちにメッセージと夢を残し、フィンランドに帰っていききました。

今回は京都府の相愛幼稚園、医仁会武田総合病院、迎陵園、京都聖嬰会など5団体の協力のもと、約500名の子どもたちとサンタさんが出会うことができました。わかさ生活はこれからも、子どもたちに夢と希望をプレゼントできる活動を行なってまいります。

